

(別紙4(2))

事業所名 グループホームやわらぎ

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 5 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新しい職員の業務指導が中々進まず、業務の差が見られる。職員の高齢化も加わり、新人職員の育成が課題となっている。出来る人がすれば良いと思っている職員も居る。個々の力の把握が出来ていない。	何れの職員も、まんべん無く入居者に向き合い日々の業務に取り組む事が出来る様に努める	施設内・外研修への参加取り組み。介護技術の指導・精神面援助を学べる様にする。施設内においては、先輩職員が新しい職員に付き添い乍、入居者個々の援助について学べる様にする。外部研修についても参加できる様、事業所側から職員に研修を受けられる様に配慮をする。	12ヶ月
2	6	日々の援助の中で、強い口調で接している様子が見れる事がある。気になっているが見過ごしてしまう職員もいる。	スピーチロックを無くする。	入居者の方個々で状態が違うので、職員同士が協力して援助できるようにする。職員全体が身体拘束の理解を更に深める様に取り組む。	6ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。